

クロサワが行く!

特別企画

インドネシアの家庭料理を食べに行こう!

「アスサキ」参加メンバーから母国の料理を紹介してもらいました。

クロサワ(以下、ク) {お二人ともお久しぶりです! ディンダさん(以下、ディ) {取材のときに話していた「インドネシアごはん会」が本当に実現できるなんて! マヤラさん(以下、マ) {ここは本格的なインドネシア料理が食べられるお店で私たちの行きつけなんです。ク {初めてみる料理ばかりでとてもワクワクします! ディ {やっぱりオススメはルンダン。あとはペチュエルレレやテンペも好きです。ク {ペ、ペチュ……? マ {あはは。日本では馴染みがないですね。ペチュエルレレはナマズを丸ごと1匹焼いてサンバルという辛いソースをつけて食べます。テンペは大豆を発酵させたインドネシアの伝統的な発酵食品で天ぷらにするとおいしいですよ。ク {いただきます。ルンダンおいしい! 日本のカレーに少し近いけど、スパイスとココナツミルクの甘さが絶妙でご飯に合う~! ナマズはインバクトがすごい(笑)。テンペは天ぷらだとサクサクで美味。あれ、食感がお肉に似てる? ディ {お口に合ってよかった! そうそう、テンペはお肉の代用としても使われるスーパーフードなんです。マ {こうやってインドネシアの文化が広まっていくのがとても嬉しいです。また行きましょう! 今度はちとせ北本のみんなとも一緒に来たいなあ。

ク {いいですね! 私もアスサキのおかげで出会えたお二人と、こうしてご一緒できて夢のようです。アスサキ編集部員でよかったと実感しました!



インドネシア料理を大満喫!

お邪魔したのは……

CINTA JAWA CAFE 大宮店
www.cintajawacafe.jp/omiya



ペチュエルレレ。ナマズをまるごと揚げたインドネシアの伝統料理。



ルンダン。牛肉などの塊肉をココナツミルクと香辛料で長時間煮込んだ肉料理。



interviewee

ヌルアディンダ・チャテウル・マハラニさん(左)
マヤラ・アグスティナさん(右)

お二人ともインドネシア出身。特定技能実習生として特養ちとせ北本に入職。過去にディンダさんはアスサキ第6号、マヤラさんは第9号にて登場。

社会福祉法人千歳会 法人本部
特別養護老人ホーム ちとせ稲毛

〒263-0012 千葉県千葉市稲毛区萩台町50-1
Tel:043-445-7840 Fax:043-445-7832
✉info@1000.or.jp (法人本部)
✉info-inage@1000.or.jp (ちとせ稲毛)

社会福祉法人千歳会 法人本部 分室

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-4-5-3F
Tel:03-6908-7777 Fax:03-5651-7667
✉info@1000.or.jp

特別養護老人ホーム ちとせ北本
居宅介護支援事業所 ちとせ北本

〒364-0001 埼玉県北本市深井3-25-1
Tel:048-579-5110 Fax:048-579-5114
✉info-kitamoto@1000.or.jp

特別養護老人ホーム ちとせ小町
デイサービスセンター ちとせ小町

〒285-0043 千葉県佐倉市大蛇町215-7
Tel:043-312-5111 Fax:043-312-5112
✉info-komachi@1000.or.jp

ケアハウス ちとせ
訪問介護ステーション ちとせ
居宅介護支援センター ちとせ
デイサービスセンター ちとせ

〒285-0836 千葉県佐倉市生谷75-10
Tel:043-464-1577 Fax:043-460-5776
✉info-chitose@1000.or.jp

居宅介護支援センター みはま

〒261-0004 千葉県千葉市美浜区高洲4-1-9 郁栄ビル2F
Tel:043-307-4711 Fax:043-307-4712

ケアハウス こまち墨田館

〒131-0045 東京都墨田区押上3-61-4
Tel:03-6657-5690 Fax:03-6657-5691
✉info-sumida@1000.or.jp

アスサキ
編集委員
大募集中!

あなたの事業所のユニークな取り組みや、ご機嫌なお客様、面白職員などのネタを提供し、一緒にアスサキを盛り上げてくれる仲間を募集しています。業務として、アスサキに関わってみませんか? 気になる方は、あなたの事業所の施設長までお声かけください!

アスサキ vol.10 増ページ特別号

2024年12月25日発行 【発行】社会福祉法人千歳会

【制作】山本 梓/中浜 崇之 社会福祉法人千歳会 黒沢 優衣 【デザイン】入江 阿寿香

vol.
10

2024.12
Winter

千歳会オリジナルメディア

アスサキ

増ページ
特別号

TOPIC

千歳会をぐるっと交換留学! 第10回

「日本」を目指す北本の『看取りケア』の考え方を学ぶ」

アスサキ10号特別企画!
あなたの「千歳会プライド」を教えてください。

職員に聞きました! あなたの「誇り」は何ですか?

第4回 感謝祭 増ページ大特集!

受賞したお客様、職員の皆さんをご紹介します!



看護師同士の交換留学! 奥深いケアについて話し合いました。(P4-5)



外国人職員と日本語と専攻研修を同僚するちとせ小町。(P6-7)



今年も開催! 感謝祭、増ページ大特集をチェック!(P9-11)

数値化できない人の魅力の評価し還元する？ 長く続いていく職場環境になるには？
業務のマネジメントについて研究されている熊谷先生に、あれこれぶつけてみました。

これからの 社会福祉法人に 求められること

くまがい だいすけ
熊谷 大輔さん

昭和女子大学・人間社会学部 福祉社会学科 専任講師。
2024年度C1グランプリに審査員として登壇。研究
テーマに「外国人介護人材への重層的業務マネジメント
体制の構築へ向けた実態調査」などがある。

ひだり ひろまさ
左 敬真 理事長

公言してきた「太平洋横断」の実行年が
いよいよ2025年と迫り、勢いを増している。
新体制づくりにますます力を入れる。

理事長（以下、左） 熊谷先生は、今後の社会福祉法人のあり方を
どうお考えですか？

熊谷大輔（以下、熊） 法人をつくっている職員や利用者といった
「人」に、法人としてどう還元していくのか？ そこを考えるか
考えないかで、社会福祉法人は今後淘汰されていくと思います。

左 なるほど。

熊 介護保険制度の根本に立ち戻ってみると、それぞれの法人が
サービスの内容を競い合うことにつながっていくんです。サービスの
質の向上、千歳会さんはやってこられているんですね。

左 はい。目の前のお客様に「喜んでもらう」ために考える、その
“手間”をいかに惜しまないか。手間ひまかけて対応して、喜んで
もらえたときの達成感を評価軸にしていきたいと考えています。

熊 それらを評価し、どう還元していますか？

左 シンプルに給料に還元しています。これまでの福祉の業界って、

お金の話をしようものなら悪代官みたいに言われてきましたがけど
（笑）。僕らからすると、キャリアを積んでもらって給料を増やして
もらうのが、一番わかりやすいメッセージになる。だから事業所を
増やして、管理者のポストを増やしたいんです。キャリアアップを
目指す職員がポストが空いていなくて、足踏みする状態になら
ないように。

熊 素晴らしい！ 本質はそこですね。頑張ったことを実感
できるインセンティブ（報酬や表彰、人事評価）であるべきです。
左さんの言うように、これはちっとも悪いことじゃありません。職員
さんにとっても、やれることや考えを法人に示すトリガー（ひきがね、
きっかけ）にもなり得ますから。

※取材は11月28日に行いました。

熊谷大輔先生との対談の全編はこちら▶



理事長チャレンジ

理事長が現場職員たちのリクエストに応えるチャレンジ企画！

お題 お料理レクで特製「左焼き」にチャレンジ！（前編）

墨田館で作るのは、お好み焼きならぬ「左焼き」。キャベツを切る係、
粉と混ぜる係と自然に役割分担ができます。鉄板には油を使わず、
揚げ玉を油代わりにしてヘルシーに。「私たちの身体も考えてくれる
のね」とはお客様の声。調理をきっかけにたくさんの思い出話や冗談で、
大盛りあがりのレクとなりました。できあがった左焼き、お味は……？
皆さん、拍手喝采の出来栄でした！

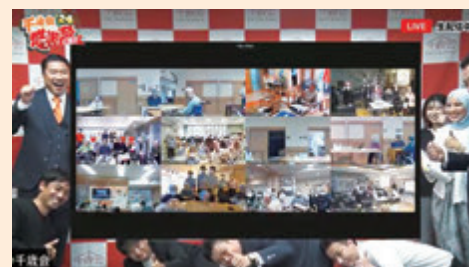


あら理事長、エプロンも
似合うじゃない～！

名物イベント 「千歳会感謝祭」を開催しました！

「介護の日」の11月11日、「千歳会感謝祭」が開催されました。
今年度は、初めて本部分室から配信。イベント会社の方々にお越し
いただき、分室の会議室にカメラや配信機材を設置し、まるでスタ
ジオのよう。今回の司会は、高坂統括施設長とインドネシア出身の
マヤラさん。マヤラさんは母国の民族衣装で出演し、とても華やか
でした。最初は緊張感に包まれていましたが、司会のお二人の息
ぴったりな掛け合いで企画も盛り上がりました♪ 今年度も笑顔
あふれる素敵な時間を多くの方々と共有することができました！

P.9～の感謝祭特集ページにて、さらに詳しく
ご紹介しています。ぜひご覧ください★



南国気分★ハワイアン祭り

こまち墨田館では、なかなか遠出ができないお客様の
ために、日本に居ても南国旅行気分を味わっていただくことと、
11月3日に「ハワイアン祭り」を開催。食堂を南国風に飾り
つけ、気分はハワイです♪ ランチは、アボカドバーガーセットと
コーラをご提供。その後は「フラダンスショー」を開演。「フラ・
ハラウ・オ・ヘレイビリナ」フラダンス教室のダンサーの方々が
ボランティアで披露してくださり、お客様と一緒に踊りながら
楽しまれていました。旅行気分をまた来年も～！



「牛丼イベント」開催！

11月22日は牛丼チェーン吉野家の牛丼の日。ケアハウス
ちとせ拠点では、この日にちなんで「吉野家の牛丼」をお客様に
提供しました。職員も店員さんの衣装で配膳し、1日
限定の牛丼屋を開店！ お客様からは「なかなか
お店には行けないけど、やっぱり吉野家の牛丼は
美味しいね～」と、大満足の笑顔をいただきました。デイサービスでは、牛丼に関連する
ユニークなレクも実施しました。



▲牛丼レクその1。「牛丼の材料
集めて、牛丼を作ろう！」



▲牛丼レクその2。
「♪吉野家音頭」

HAPPY WEDDING♪

ちとせ北本に勤務する看護師がご結婚されるということで、
お祝いの気持ちをこめて施設で「結婚式」を開催しました！

ご本人には内緒で施設内を装飾し、手作りのボールとパー
ジンロードも準備。看護師の大ファンである男性のお客様が
一緒にバージンロードを歩いてくださいました。サプライズは
大成功で、その場にいた職員も、駆けつけてくださったお客様も、
みんなが幸せな気持ちになりました♡



千歳会をぐるっと 交換留学!

聞いたひと

こうご
向後 ひろみさん

ちとせ稲毛の看護師。2024年1月に入職し、自身の経験を活かして活躍している。今回着用の白衣は自前のもの。



初めての北本訪問! 同じ看護師としてたくさん勉強させていただきます。

初めての施設見学

まず施設内を案内していただきました。北本はユニットごとに惑星の名前が付いていて、新鮮でした(稲毛はスイツの名前)。それぞれのお客様がどのような経緯で北本に入所することになったのか、今どのような症状があるのか、それに対してどういうケアをしているのか、豊永さんに詳しく教えていただきました。

▼お部屋を青・トイレを赤・立ち入り禁止を緑と色を分け、認知症のお客様もご自身で歩ける工夫がされている。



交換留学先として初の登場! ちとせ北本。今回は看護師同士の交換留学です。医療と介護の壁を取っ払い、お看取りに真剣に向き合う豊永さんにケアの姿勢を学びます。

第10回

特別養護老人ホーム ちとせ北本

特別養護老人ホーム ちとせ稲毛

「日本一を目指す北本の『看取りケア』の考え方を学ぶ」

Text by Hiromi Kougo

教えるひと

とよなが あさみ
豊永 麻美さん

ちとせ北本の看護師。2022年1月に入職し、現在は看護主任を務める。認定看護師資格を取得し、「千歳会を看取りケアで日本一にする」のが夢。

看取りケアとは?

医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みのないと診断したうえで、亡くなるまでの介護計画について患者と医療ケアチームで話し合い説明を受け同意し、介護を受けること(厚生労働省「看取り」より)。

日常の支援の延長線上にあり、その人らしい最期を支えるケアや、死別後のご家族へのケアも含まれる。

かわいらしいお花柄のカップ。施設内ですべて揃えているそう。▶



◀お部屋の前には表札とともに、強いメッセージが(笑)。北本の皆さんは、お客様の希望をよく知っている。



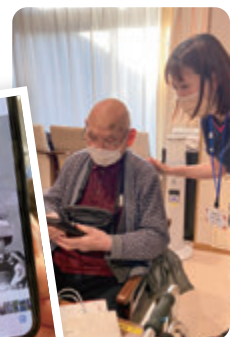
▲お客様の車いすには、たくさんのおまもりが! ひとつずつ見せていただく。



▲壁のあちこちにはレクやイベントの写真が掲示してありました。賑やかな装飾がたくさん。

偶然? それとも必然? 結婚式の写真がそろう

アルバムをご覧になっているお客様。娘さんのウェディング姿が写っています。豊永さんは、その中身を知っているようで「ご自身が写っている家族写真を見せてください」とリクエスト。子どもの七五三のときの写真のようで、母の凛々しい目元は現在も変わっていません。お隣のテーブルでは、ご夫婦で入居されているというお二人が。またも豊永さん。「お二人の結婚式のときの写真はありますか?」と尋ねると、ご主人はスマートフォンを取り出し即座に見せてくださいました。「もう70年前」と言うお二人の笑顔が素晴らしいです。



▲わずかに手が動くお客様とのコミュニケーションのひとつ、パソコン。



▲豊永さんが用意してくれた「看取りケア」や「エンゼルケア」の資料を読み込む。



▲シルバー人材センターの方が毎回植え替えてくださるというエントランスのお花。今度は先方の主催するイベントに北本から参加する予定とのこと。



お看取りケアについて意見交換

経管栄養(点滴)や嚥下が難しい方でも「食べる喜びを諦めない」。嚥下訓練の許可が出ている方はアイスクリームを少しだけ召し上がっていたり、嚥下障害のある方が口腔ケアで使用する薬剤をお好きなレモン味にし意欲的に訓練できるように配慮していること。

また、看取りのお客様のお部屋をご案内いただいた際、ご家族から「生け花をされていた」との情報を活かし、シルバー人材センターのご協力も得て毎回お部屋に生け花を飾られているとのこと。地域との連携もとれ、その方らしさを尊重したケアに刺激を受けました。

経管栄養をご利用中のお客様と「介護旅行」を計画中というお話も。そのノウハウをご教授いただき、稲毛でもまずは近くの公園へ花見へ行ってみたいと、目標を立てることができました。

特別養護老人ホームちとせ北本
Information

所在地 〒364-0001 埼玉県北本市深井3-25-1
TEL 048-579-5110 E-mail info-kitamoto@1000.or.jp
WEB https://1000.or.jp/facility/tokuyo-chitose-kitamoto/



国籍は関係なくみんな仲間！な座談会！

※取材に協力してくださった外国人職員の皆さんにも記事を読んでもらうために、振りがなをふっています。ぜひ、感想もお寄せください！

——外国人職員への日本語の勉強会をするきっかけは？

矢野 ありがたいことに、外国出身の入職者が増えてきたことですね。現在、中国、スリランカ、フィリピン、ネパール、モンゴル、ベトナムの6か国から12名の職員が在籍しています。

高木 皆さんそれぞれに現場経験があるから、業務としての働きに関しては問題ない。けれど、介護はそれだけではありません。コミュニケーションで心を通わせたり、状況を把握することも大切になってきます。

矢野 まだ試行錯誤の段階なのですが、とにかくやってみようという動きが出したところですよ。

——具体的にはどのような勉強会を？

高木 12名いる職員を2つのチームに分けて、それぞれ月に一度集まって日本語で介護の考え方や用語などを勉強しています。

矢野 これまでに「日本の介護とは？」という大切にしたい介護の考え方の共有と、「挨拶や接遇・マナー」を学んできました。

松平 小町はどの部屋も使っていて、ちょっとした空きスペースで集まるしかないの、いつもぎゅうぎゅうなんですよ。

矢野 最初は右も左もわからないなかで、私がテキストを作って進めていきましたが、3回目の「介護の専門用語～食事編～」からは



▲日本語の勉強会の様子。この日は「食事」について学んだ。



▲外国人職員のユニットでの様子。

矢野 示せばと思っています。それを1つずつクリアすればいいと伝えれば、それがモチベーションにもなるはずなので。

高木 今はまだ、職員の变化というところまではいっていませんが、とにかく継続して勉強会ができるといいですね。

矢野 高木さんの言うように、今はそれぞれの職員の日本語のスキルと、キャラクターをこちらがキャッチしている段階だと思います。なるべく声をかけて、お互いの距離感を少しずつ縮めていけたらいいなと思っています。

——外国人職員の皆さんへの愛情を感じました。
ありがとうございました！

パートの職員が仲間に入ってくれ、講師役を買って出てくださいました。教え方もとてもわかりやすく、助かっています。

——勉強会を継続して開催する理由は？

矢野 現場の外国人職員を見ていると、これまで都合のいい便利屋のように扱われてしまっていたんじゃないかと感じることもあるんです。

先ほど言った「業務」の部分だけをやればいい、というような。ちとせ小町で働くからには、同じ仲間としてほしい。介護の仕事をしていることに誇りを持ってもらいたいし、ゆくゆくは自分の国に帰ってこの

スキルが活かせるようになってほしいなって思っているんです。

高木 最近は、勉強会に参加している職員からも「敬語や尊敬語について教えてほしい」という意見が出ています。知らないから悪気がなくタメ口になってしまっていることを、気にするようになっていくメンバーもいますね。

松平 継続することでこちらが見えてくることもあります。普段は担当するユニットの外の職員とは交流がなかったのですが、この勉強会のおかげで、ユニットの外の職員とも話すようになりました。それぞれの考えていることや、仲よくしているグループなんかも気がつくようになりましたね。今度、日本に奥さんを迎えるという職員もいるんですよ。しっかり勉強して、あちこち案内できるようにしたいねって話しています。

——今後の目標は？

松平 担当するユニットの中に、リーダーを目指している職員がいます。日本語の上達は基本ですが、そのあとにパソコンの入力方法や報告書の書き方など具体的にリーダーになるまでの道のりを

アスサキ 10号 特別企画！

あなたの「千歳会プライド」を教えてください

職員に聞きました！ あなたが働くうえで大事にしていること。誇りにしていること。ことばの力を信じて、さらなる明日の先へ……。私たちはこれからも進化し続けます！

お客様がお客様らしく
過ごしてほしいです。

お客様に、いつも
笑顔で明るく元気に、
お話をしています。

日本語を
がんばる！

お客様に徹底的に寄り添う。
それが僕たち職員の
喜びだから。

同じ方向を目指してる後輩を
支え成長させること。

組織の成長には
後輩の成長が不可欠。

お客様との良好な
コミュニケーション、チームワークと
思いやりを大切にします。

笑いを忘れず
お客様を
楽しませる。

つづきは、
次のページへ！

前ページに引き続き……

あなたの 「千歳会プライド」を 教えてください

まだまだ行きましょう！
千歳会メンバーの一人ひとりのもつ
“誇り”を、シェアします。

新しいチャレンジに無言で着いてきてくれたり
応援してくれる仲間がいる。
これも私にとっての千歳会で感じているプライド。

私の仕事を通じて、ご高齢の方々に最善のケアを提供し、
尊敬と愛情に溢れるよりよい社会を築く
一助になれることに誇りを感じています。
また、この仕事から得られる収入にも誇りを持っており、
家族の精神的な支えとなり、
経済面でも安心を与えることができています。

「私、声が大きい？」
なんて言える、
素が出せる関係性。

特別な1日よりも
当たり前の毎日に
楽しみを作る

毎日楽しく仕事をする中で、
皆さまからも元気や優しさを
いただき、さらにお返ししたい
という相乗効果があり、
法人、地域に広げていく。

感謝と思いやりを大切にし、
よりよいサービスを提供する。

地域社会との
架け橋。

お客様の想いを尊重した
お客様ファーストの介護。

「食べる喜びを
諦めない」。
それは、元気で
い続けられる理由。

皆、なんでもできる仲間じゃなくていい。
お互いの強みを活かし合える組織。

ご協力いただいた皆さん、
ありがとうございました！



第4回
感謝祭

表彰式 増ページ大特集！



感謝祭とは

千歳会で働く職員、お客様、ご家族、そして取引先の皆さま……。
千歳会に関わってくださっている全ての方に日々の感謝の気持ちを
伝える「千歳会感謝祭」を開催しました。
今回のアスサキでは、6つの賞を受賞した方々と施設をご紹介します！

ご長寿賞

お客様のご長寿をお祝いし、
いつも**元気をいただいていることに感謝**する賞です。



せきぐち ひさえ
関口 久恵様

大正11年10月6日生まれ 102歳

特別養護老人ホームちとせ稲毛

元々踊りの先生だった関口様。夏祭りでは誰よりも
元気に踊ってくださいました。歌も大好きで、
「歌ってください」とリクエストすると大きな声で
歌ってくださいます。関口様の笑顔と声は職員の
元気の源です！



かみさか
上坂 ヨノイ様

大正12年3月17日生まれ 101歳

特別養護老人ホームちとせ小町

「私はね、じっとしていられないの」と、常に動いていらっ
しゃいます。ある日、廊下ですれ違った時に行き先を
尋ねると「あの世に行くんだよー！」と真顔でおっしゃい
ました。「あの世に行くには順番があるみたいで連絡が
来ないと行けないんですってよ」とお伝えすると「そうか、
そうか」と大笑いし、「岸壁の母」を歌いながら移動されて
いました。表情豊かでまだまだ元気なヨノイさんです。



みながわ くみ こ
皆川 公子様

大正12年10月5日生まれ 101歳

特別養護老人ホームちとせ北本

10月5日に101歳のお誕生日を迎えた皆川様、
本当におめでとうございます。いつも穏やかで
優しい皆川様。子どもが大好きで孫様の話にな
ると満面の笑みで話が止まらなくなりますね。
そんな皆川様にスタッフ一同癒されています。
これからもお元気を重ね、ご長寿でいらっしやる
ことを心よりお祈りしております。

笑顔が太陽で賞

「明るい太陽のように周りを元気にしてくれる
笑顔」のお客様ご紹介しお祝いしました。

たなか みつよし たなか たかこ
田中 満嘉様・田中 孝子様(ご夫妻) 特別養護老人ホームちとせ稲毛

(夫・満嘉様からのコメント)このような賞をいただきありがとうございます。夫婦そろってお世話にな
って感謝しています。妻がお世話になりっぱなしで、こうして笑えているのも皆様のおかげだと思
っています。(妻・孝子様からのコメント)いつもありがとうございます。(職員からのコメント)
ちとせ稲毛では、これからもお二人が笑顔で過ごせるよう、協力サポートをしていきます。



エピソード コンテスト

職員一人ひとりの仕事を通して体験した「ストーリー」を募集しました。 お客様とのやりとりや職員間の交流での「感動エピソード」、失敗をしたけれど見事リカバリーした「大失敗エピソード」、行動指針を広めていくための取り組み

感動エピソード 第1位

人間の人生の長い旅は、いつの段階に分かれていると思います。それぞれの人生の各段階には非常に重要な瞬間があり、次の段階に向かうに大きなむちを与える瞬間です。今の人生のこの段階では、誰かが永遠に私と一緒にいてくれる約束を聞かれました。私も同様の約束をし、私たちは共に成長し、次の人生のステージを一緒に歩むべく約束を誓い合いました。実際、私がこの国（日本）に初めて足を踏み入れた時から彼とは長い付き合いで、とても優しい人です。しかし、今の人生の段階から彼は古い友人じやなく、私が決して終わらないことを望む時、彼は私のそばにいてくれる友人に変わりました。この話は私にとって本当に幸せな話です。しかしそれ以外にも私たちが感動的な話をあつちです。今日婚約式はコソットのスタッフの皆さんの優しいおかげで実現できました。皆さんは間違いなく非常に大変にかにもかわらず、私が長期間帰国することを許可してくれました。皆さんにとてもお礼をかけるのに皆さんは笑顔で私を帰国に送り出し、「気を付けて」「帰国に気を付けて」「安全を祈ってね」と言ってくれました。そのやさしい言葉にとても感動しました。今まで感謝しやうをせ。スタッフだけでなく、お客様たちも帰国することを知ると泣いたお客様も、手を離れてくれないお客様もいて、それにとても感動しました。お客様たちも「気を付けてね」「寂しいよ」「帰国に気を付けて」「はやくもどってね!」と言ってくれました。家族から遠く離れている私にとってこのコソットの皆様はここにいて私の家族の如きものであることにあります。私もこれから皆様の一人として喜びを感じていきたいと思っています。皆様、いつまでもおげんきでいられるようにいつもお祈りをします。♡

アルフィアニ・ヌル・シャリハさん
ALFIANI NUR SHALIH4 1994年11月・モソケラン

アルフィアニ・ヌル・シャリハさん
特別養護老人ホームちとせ稲毛 介護職

介護エピソードコンテストに参加したことがなく、書き方も提出方法もわからなかったので全て手書きで書きました。実際は賞をもらえることも知りませんでした。なので、書く時にも賞をもらえるように書こうとしなかったです。感謝祭の時、自分の名前が呼ばれてとてもびっくりしましたが、本当にうれしいです!



大失敗エピソード 第1位

私は色々やらかしが多く、どれを話せばいいか迷ったのですが今年一番「やらかしたけど、ちとせで働いていたからリカバリーできた」エピソードをお話したいと思います。その日、私はいつものように、お客様のお手洗いの誘導をしていました。トイレ内に置いた車いすの位置を調整しようと車いすと壁の間を通ろうとしたとき、車いすのハンドルの片方が謎の力で私のズボンのホックに引っ掛かり、そのままズボンが床まで勢よく落ちてしまったことです。お客様からは見えない位置だったこと、そして何よりちとせのエプロンを着用していたおかげで、(社会的な)大事故は防ぐことができました。エプロンがなければ、私の介護士としてのキャリアは終わりを告げていたところでした(トイレのドアを誰かが開けていても、終わっていたかもしれないですが)。ちとせで働いていて本当に良かった! と思った瞬間でした。エプロンさん、その節はほんとうにありがとうございました。

いまむら ちかこ
今村 千香子さん
特別養護老人ホームちとせ稲毛 介護職

この度は「失敗エピソード部門」で今村を選んでもいただき、本当に嬉しい気持ちで一杯です。介護の仕事は悩むことも多く、決して楽しいことばかりではないですが、自分の失敗を次の糧にできるだけではなく、「笑顔になれるエピソード」として皆さんとシェアできるのはちとせだけの強みだと思います。これからも笑顔一杯でがんばります!



「行動指針浸透チャレンジ」の3部門でエントリーしてもらいました。43作品という、たくさんのエントリーありがとうございました!

行動指針浸透チャレンジ 第1位

「挑戦し成長し続ける」
介護福祉士の仕事に従事すると多くの仕事の学習は非常に困難で、最も失敗したのは、排泄介助の勉強の経験です。学生時代に特別養護老人ホームで実習をしたとき、職員に付いて利用者の部屋に入っておむつの交換を勉強し、おむつを外した瞬間、強い匂いが鼻を突き我慢したが、実習についた職員は一つひとつ丁寧に交換するのを見て、感心すると同時に怖くなり、初めて自分が絶対に超えられない壁があると感じた。その後、私は一人でおむつ交換をすることができず先輩職員に話し、挫折しました。先輩たちは優しく私にほかの仕事を手配しました。その間、私は彼らがおむつを交換する姿を見て自責すると同時に反省しました。ついにある日、私は勇気を出して彼らにおむつを交換させてもらえるように頼みました。先輩の視線の下で、私は一つひとつゆっくりと行い、おむつ交換をすることができました。困難にめげず、私は最初のステップをようやく踏み出すことができました。この成功体験をもとに、その後、先輩のアドバイスで自分の動作を絶えず修正し、改善し、経験を積んでいきました。いつの間にか私は一人で全ての業務を行えるようになりました。先輩たちからも仕事を任せてもらえるようになりました。すべての仕事を終えた後、大きな満足感が全身に溢れ、その時の私にとってとても貴重な経験となりました。

きよく るくせい
曲 緑成さん 特別養護老人ホームちとせ小町 介護職

初めて感謝祭に参加して、本当に緊張しました。賞をもらった後、みんなの拍手を聞いて本当に嬉しいです。これまで多くの人に助けていただき、本当にありがとうございました。これからも勉強を頑張ります。よろしくお願いします。



セクシー賞



いのうえ あんり
井上 杏理さん
特別養護老人ホーム
ちとせ北本 介護職

選んでいただき本当に嬉しく思います。ちとせ北本の環境がよく、思いやりある素敵な職場だからこそ、私自身もお客様に思いやりを持って接することができ、この賞を受賞することができました。感謝祭ではたくさんの職員の方がサプライズ動画に参加してください、祝っていただき本当に嬉しかったです。ありがとうございました。

仕事に対する姿勢が素敵な職員や周囲にいい影響を与えた職員を表彰します。

約300人が働く千歳会の職員、**今年の顔**が決まりました!



フォトコンテスト

「きらり 輝いている瞬間」をテーマに職員の皆さまから写真を募集し、本部職員によって選考した作品を表彰しました。今回は、素敵な写真121作品もエントリーがありました!

第1位 「永遠の愛」



あらせ ゆかこ
荒瀬 由佳子さん
ケアハウスちとせ 主任



父と母を昨年遠い国に送りました。90歳過ぎの父が母を思う気持ちがほほえましいです。私たち夫婦のお手本です。

第2位

「施設、職種を超えた旅を
諦めない仲間たち!!」



いけうち かなこ
池内 香奈子さん
ケアハウスこまち墨田館 リーダー

今回、介護旅行の付き添いでお客様の楽しそうな様子、職員の自然体の表情が素敵だったので出品させていただきました。旅行を諦めずに元気で輝いているお客様がいて、他施設、他職種、年齢関係なく関わる方々も楽しんでいる様子を伝えることができたと思います。皆様のおかげで受賞でき、大変光栄です。

第3位 「はじまり」



ながぼ あい
長窪 愛さん
特別養護老人ホーム北本 看護職



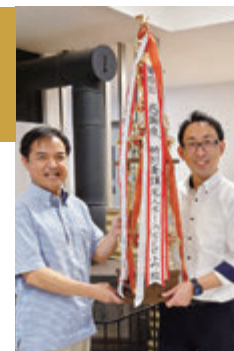
新生活となりましたが、これまで通り仕事もプライベートも楽しく過ごしていきたいと思っています。

施設賞

「私たちの事業所見てくださいCM!」というテーマをもとに、90秒の動画にまとめてもらいました。動画のクオリティや内容をもとに本部職員が投票を行い、決定しました。

最優秀
施設賞

特別養護
老人ホーム
ちとせ小町



今年度の施設賞を受賞でき、大変光栄です。ちとせ小町の外国人職員向けの研修体制や、お客様の余暇活動の取り組みについて、高く評価していただいたものだと思います。今回の受賞をさらなる糧にして、お客様によりよいサービス提供ができるよう精進してまいります。来年も連覇を狙って頑張ります!(代表者:南曲 豪【みなみまがり ごと】施設長)

第2位

特別養護
老人ホーム
ちとせ稲毛



施設賞2位の受賞、ありがとうございます。ちとせ稲毛では理事長の想いを胸に日々意識している取り組みを動画にいたしました。社会とのつながり、旅行するよろこび、食べる喜び全てを諦めず、入居者様が職員と一緒に過ごしている姿を見ていただけたかと思えます。来年は1位を受賞できるよう、新しい取り組みにもチャレンジしていきます。(代表者:高坂 忍【こうさか しのぶ】施設長)

第3位

ケアハウス
ちとせ



施設賞3位をいただき、ありがとうございます。施設動画を作成し、各部署との連携が深まりました。新しい職員とも「感謝祭」の意味を共有し、千歳会の職員である認識が増したと思います。来年は優勝できる施設動画を作成します!(代表者:小川香里【おがわ かおり】主任)